

2019年2月27日

各位

ペンクロスグリーン改修工事に伴うローカルルールについて

競技委員会

当倶楽部は2019年3月1日より、ペンクロスグリーン及びその周辺の改修工事を行います。工事期間中は、当該区域に高さ2m超の防球ネットを設置し、また重機等も使用することから、安全面に十分配慮するため、工事中のグリーン・バンカー及びその周辺は立入禁止となります。

もし、立入禁止区域に飛球した時は、工事作業員等が安全を確認した上で球を回収いたしますので、プレーヤー自身・キャディーは区域内に立ち入らないでください。但し、作業員が不在の場合後ほどお返しいたしますので、別の球でプレーを続けてください。

よって、改修工事期間中、下記のローカルルールを制定します。

記

- 改修工事中の区域はプレー禁止の修理地とする。
当該区域は防球ネットまたはローピング(その杭を含む)をもって定める。
プレーヤーの球が当該区域にある場合、当該区域の縁を最後に横切ったと推定される地点に球があるとした上で、規則16-1に従って救済を受けなければならない。
- 改修工事の為に設置された防球ネット、工事に使用される重機、その他改修工事の為に設置または使用される全ての人工物は、改修工事区域の内外に関わらず、臨時の動かさない障害物(以下TIO)とし、次の場合、このローカルルールに基づく救済を受けなければならない。

<物理的な障害>

- i. プレーヤーの球がTIOに触れている、中や上にある。または、
- ii. そのTIOがプレーヤーの意図するスタンスの区域やスイング区域の障害となる。または、

<介在の障害>

- iii. TIOがプレーヤーからホールに向かって介在している(つまり、球とホールを結んだ直線上にTIOがある。)または、

- iv. TIO がプレーヤーからホールに向かって直接介在することになる箇所から、ホールから等距離の円弧に沿って計ったときに、その球が1クラブレンジ以内にある。

<TIO からの救済>

プレーヤーの球が TIO による障害がある場合、そのプレーヤーは元の球か別の球を次の救済エリアにドロップし、その救済エリアからプレーすることによって罰なしの救済を受けなければならない。

- ・ 基点：物理的な障害と介在の障害の両方からの障害がなくなる完全な救済のニヤレストポイント。
- ・ 基点から計測する救済エリアのサイズ：基点から 1 クラブレンジ以内のすべての区域。しかし、次の制限がある：
 - ジェネラルエリアでなければならない。
 - 基点よりホールに近づいてはならない。そして。
 - その TIO による物理的な障害と介在の障害の両方からの完全な救済とならなければならない。

以上